



Rotary



国際ロータリー第2670地区

高松西ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF TAKAMATSU WEST



2018年3月30日

Vol. 34

ロータリー：変化をもたらす

Weekly Report 2017-2018

会長:泉谷正紀/幹事:遠藤直樹/会長エレクト:村上義憲/副幹事:磯崎裕騎/S.A.A:木内泰宏

創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

今週のプログラム	第2364回	3月30日
職場例会：ロイヤルケア高松デイサービスセンター テルメ		
担当者	職業奉仕委員会	例会場
		ロイヤルケア高松デイサービスセンター テルメ

先週のプログラム	第2363回	3月16日
客話「水と水資源とその地域的調整と時間的調整とその効果」独立行政法人水資源機構 吉野川本部 柳川本部長		
担当者	プログラム委員会	例会場
		JRホテルクレメント高松



泉谷会長挨拶



遠藤幹事報告



松木会員に米山委嘱状



客話:柳本様

泉谷会長挨拶

・先日、地区研修協議会が開催されました。いよいよ次年度がスタートし出したわけで村上次年度会長、まずはお疲れ様でした。

さて、今日は生憎の雨で寒くて水を恨んだりしますが、元々香川県は台風、洪水、土砂崩れ、大雪などの自然災害が少ない地域で、逆に渇水では苦勞して来ました。弘法大師さんの時代からため池を作り、それでも足りなくて早明浦ダムが必要になったわけです。

今日は水資源機構の柳川様に客話を頂き、早明浦ダムも含めて水の有り難さがわかるお話をお聞きます。

なお、4月から当クラブご米山奨学生として高 媛(こう えん)さんをお世話することになりました。

そのカウンセラーとして松木会員に米山記念奨学会本部から委嘱状が来ておりますのでお渡しします。

来週3月23日は休会、その後二週続けて移動例会です。3月30日は小竹会員のロイヤルケア新館ご披露の職場例会、4月6日は玉藻公園披雲閣での昼例会となりますのでお間違いなく。

遠藤幹事報告


- ①ハイライトよねやまの新しい号が届きました回覧致します。
- ②水戸南RCの創立45周年記念式典(5月11日)に参加可能な方は締め切りが本日までなので私の方までお申し出くださいませ。
- ③高松グリーンRCの創立25周年の記念式典(4月15日)、懇親会(4月21日)の出欠の変更のある方も締め切りが4月の最初までなのでこちらも私の方までお申し出くださいませ。
- ④2月6日に発生しました台湾東部地震に際しての義捐金30万円を2670地区の特別会計より拠出することになりましたのでご報告いたします。

出席報告		出席委員長：吉岡哲哉	
会員数 /	58名	出席規準数 /	54名
出席者数 /	31名	欠席者数 /	23名
出席率 /	57.41%	ビジター /	1名
最終出席率 /	3月2日	53.70% →	74.07%

3月30日 今日は何の日	今日生まれの有名人
マフィアの日・旧ねはん会	1853年 ゴッホ 1967年 坂本冬美
1858年 消しゴム付き鉛筆が発明される	1927年 堤清二 1968年 セリーヌ・ディオーン
1968年 TVアニメ『巨人の星』放送開始	1938年 島倉千代子 1974年 千原ジュニア
誕生花	デージー、花言葉は“あなたと同じ気持ち”
誕生石	パール(Pearl)、宝石言葉は“健康・長寿”

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー



例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)
今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要ですが)
<http://www.88club.com/rc/2017pdf/03-30.pdf>

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

鏡原友好縁組委員長よりご報告

当クラブの創立50周年記念事業の一環で「ミャンマーの小学校に校舎を建てて贈呈する」事業がございます。金銭面では高松東RCの篠原様に紹介していただきRCの国際ファンドで45万円拠出していただいたそうです。私達の知らないところで色々と工面していただいた校舎が完成間近になり、自らが会長の年度に始まった事業ということもあり3月初めに再度現地に出向いて視察してきました。図書室もほしいという要望もあり本も今回持参して下さいました。完成した校舎は思っていたよりも大きく一緒に行かれた建設会社の方も200万円ではとても出来るものではないと絶賛されていたそうです。また子供達のうれしそうなお顔を見ているとご一緒下さった奥様含め9名の方も大変感激されて涙、涙だったみたいです。ご足労おかけいたしました。

ミャンマー出身のサンさんから一言

「子供達も自分達のきれいな学び舎が出来るというのでみんな煉瓦を運ぶなどいろいろできることを手伝っていたそうです。校舎はトイレも4つもありとても大きくて立派な校舎で子供達も大変喜んでおります。これも高松西RCの皆様のおかげです、ありがとうございます。」とのこと。



ニコニコBOX

本日の客話いただいた柳川様より謝金を入れてい 柳川様 いただきました。

先日の地区研修協議会お疲れ様でした。 村上

地区協議会出席の方々御苦労様でした。 磯崎
村上さんありがとうございました。

先日、焼山寺へ行ってきました。 木内
88ヶ所3年かけて徒歩で回り結願しました。

ミャンマー小学校工事完成。 サン

来月より、いよいよ野球始まります。 石井
宜しくお願いします。

早退 2件

合計 8件

本 日 の 合 計 29,000 円

2017-2018 年 度 累 計 1,008,000 円

ビジター

高松東RC 大山 史恵 様

メイクアップ

3月11日 地区研修協議会 村上 磯崎 堀井 島谷 朝倉 松下 野口
岡田(和) 松木 福家

3月13日 高松東RC 石井 江島 植田 堀井 低田 伊藤

例会変更

3月20日(火) 高松東RCは休会

3月21日(水) 善通寺RCは3月24日(土)13:00善通寺市民会館に変更

3月22日(木) 丸亀RCは3月24日(土)13:30猪熊弦一郎現代美術館2Fミュージアムホール/善行表彰に変更

3月23日(金) 高松西RCは休会

3月23日(金) さぬきRCは休会

3月28日(水) 高松南RCは18:30高松センチュリーホテル/新会員歓迎会に変更

3月30日(金) 高松西RCはロイヤルケア高松デイサービスセンター・テルメに変更

4月 2日(月) 高松北RCは神明殿/花見家族例会に変更

4月 2日(月) 東かがわRCは4月1日(日)日帰り家族旅行に変更

4月 3日(火) 高松東RCは4月7日(土)KSB瀬戸内海放送本社中庭/親睦花見例会に変更

4月 3日(火) 高松中央RCは18:30栗林公園「花園亭」家族例会に変更

4月 3日(火) 坂出RCは18:30公楽・花見夜間例会に変更

4月 4日(水) 善通寺RCは4月1日(日)13:00善通寺市民会館/50周年記念式典前に変更

4月 5日(木) 高松RCは18:30栗林公園内「讃岐迎賓館」・花見家族例会に変更

4月 5日(木) 丸亀RCは4月4日(水)18:30サンアンジェリーナ/坂出東RCとの合同観桜会に変更

4月 6日(金) 高松西RCは12:30玉藻公園「披雲閣」/移動例会に変更

4月10日(火) 丸亀東RCは4月8日(日)13:00サンビレッジ土器川/第5回丸亀東RC杯少年剣道大会に変更

4月17日(火) 丸亀東RCは4月22日(日)8:00観桜会&岡山方面日帰り家族旅行に変更

5月 1日(火) 丸亀東RCは5月3日(木)9:00丸亀城内/丸亀お城まつりに参加に変更

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。

<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



次週のプログラム 第2365回

4月6日

昼例会：玉藻城披雲閣・花見例会

担当者 親睦活動委員会

例会場 玉藻城披雲閣



水と水資源普段意識せずに使っている水の本質やどこから来て誰がどのように手元に来るようにしているのか、少し過去のさかのぼり日々の水について現在の生活との関連を考えてみた。

さて、時代をさかのぼっていくと、日本の先祖は狩猟等の生活から、稲作などの定住生活に移行して、戦国時代、江戸時代、現代へと変化してきた、地球上にとって人類など生き物にとって必要なものと言えば水と空気とエネルギーであるが、太陽と重力は水と空気を得るためには必須。近代はエネルギーを石炭や石油に代替えてきたため、木材やプラスチックなどに燃料と資材を代替えし、簡単にエネルギーを手にしてきた。また、法的整備をして川や森林等の環境保全にも手を尽くしてきた。その結果現在の豊かで健康的な社会経済生活が得られている。

しかし、代替えできないものとして、人間をはじめとする生物に必須なものとして水が存在する。太陽エネルギーや重力により水蒸気に変化し、陸地の上空に運ばれ、雨粒になり重力により降雨となって落ちてくる。この水を我々は効率的に、身体の代謝や飲料水、農業、工業に使っている。その量という大体一人当たり一日200から250リットル利用しているため、4人家族だと風呂、炊事、トイレ、など生活一日1000リットル重さにすると1tの水を使用している。水は無くならない循環していると言うことです。

しかし、代替えできないものとして、人間をはじめとする生物に必須なものとして水が存在する。太陽エネルギーや重力により水蒸気に変化し、陸地の上空に運ばれ、雨粒になり重力により降雨となって落ちてくる。この水を我々は効率的に、身体の代謝や飲料水、農業、工業に使っている。その量という大体一人当たり一日200から250リットル利用しているため、4人家族だと風呂、炊事、トイレ、など生活一日1000リットル重さにすると1tの水を使用している。水は無くならない循環していると言うことです。

方丈記 ゆく川の流れば絶えずして、しかも元の水にあらず……

少し前にさかのぼり、日本で水道事業が開始されたのは明治33年ころ神戸や横浜、長崎といった貿易港野ある町からスタートしています。

また東京都において、大正10年ころに水道事業に塩素殺菌が使用されはじめ、それが全国に広まり安心安全な水の確保が得られ国民の健康で楽しい人生や社会生活の確保を下支えしている。その安定供給といった面でダムなどがその水源確保補給といった面で活躍しています。

さて、身近な香川県の水利用説明してと、香川用水という言葉、早明浦ダムと貯水率という言葉は知っていても、日々の水の運用やこれまでの効果はよく知られていませんね。

年月さかのぼり、約42年前に実施完成現在運用されてきた早明浦ダムをはじめとする池田ダム、香川用水施設は、四国の中でも多雨の約年間3000mm降雨がある高知県山岳部に貴重な土地を譲って頂き、移転して頂いた上で、水源を造り、吉野川流域の洪水を減らし、河川環境を維持するための普段の水を流し、かつ年間約1000mm程度の降雨しかない香川県に導水することで渇水を減らし、かつ早明浦ダムから補給するときには発電機を通して水力発電もおこなうという四国の各県が事業費を分配して行ったものです。

その恩恵として、四国各県が安定した水利用が出来ているわけです。

記憶にあるところで香川県について思い起こしますと、昭和48年には約50日間という大きな渇水に見舞われ、社会生活に大きな影響がありました。昭和50年4月より吉野川での総合開発事業が完成し早明浦ダムと池田ダム、香川用水が完成し、安定した水利用が可能となりました。その間瀬戸大橋など本四架橋が完成し、高速道路の整備と、流通経路の確保と充実が計られ安定した社会経済活動に寄与してきました。

その結果年間2億4千7百万トンの水が香川県に安定活用でき、昭和49年から平成24年までの比較で、県内生産高約3倍、企業数は6割増加、農業生産高は約7割増加となっています。

農業では全国一位のもの数多くあり。料理もおいしいものがあります。ある意味水が安定的に作物に変わっていると言うことでしょうか。

さて、では日々の水はどうやって香川県まで運ばれてきているのでしょうか？

早明浦ダムから池田ダムまで川なりに約60kmあり補給しても約12時間程度時間がかかります、そこから約8kmの阿讃トンネルを通過して香川県に入ってきて、よくぞ存知の香川用水記念館がある分土工にきて、香川用水水路に入ると、それぞれ取水するためゲートで水面を作りながら約40km自然流下で流してきます。重力を使って運ぶこと、電気などなるべく使わないことが一番経済的です、ここでも重力のお世話になっています。

4つの浄水場に来るまで最長で7時間、浄水場で飲めるようにするのに約10時間それぞれかかります。最長で約30時間時間が掛かって使える水として手元に届きます。

池田ダムは中でも最重要な場所にあり、365日24時間二交代の体制で吉野川の水管理を実施しています、局地的豪雨、各関係機関の要請、調整を総合的に判断し早明浦ダムからの補給などを指示して、ダムの効率的運用と温存を図ります。また約60cmの水深の範囲で香川用水への取水深さの確保をしています、非常に神経を使う業務。これは、安定した水利用確保からは欠くことのできない仕事です。早明浦ダムが四国のいのちならば池田ダムは四国のかなめ

副知事 要潤様がいて香川県が潤うといった感じでしょうか（笑）

最後になりますが、我々が、水循環のなかで水を使うと言うことは水を汚しということ、自分の体を水を飲んで代謝してきれいにして、汚れたものを排出する水の量は変わりません。食物なども水と肥料と太陽エネルギーとで生成されたものですので、捨てる水を捨てたこととなります。大事に使い無駄にしないようにしましょう。

資源としての水の活用とは字を並べ替えると、水資源機構の活用となります（笑）。水資源機構は普段の水だけでなく、洪水の調節が皆様のダムや水路の維持管理を常日頃より行っており水という側面で皆様の社会基盤を支えています。

ダム水路といった男の職場のように見えますが最近では女性技術者職員も増えており、初のダム女性所長も今年度からおります。是非一度水資源機構の施設を訪れていただきその水管理を見学していただければ幸いです。